

お待たせ！カエルが産卵し始めた

まず、ヤマアカガエルが33卵塊

カエル産卵のことし第1陣が2月27日(土)、広町緑地で確認された。ヤマアカガエルの卵で、田んぼ脇の貯め池に8=写真左、入り口に近いハス田跡に12、田んぼのすぐ下流側の耕作放棄田跡に1つと、一挙に21個もの卵塊があった。



さらに、翌28日(日)には、貯め池で追加して4つ、冬季湛水しているヤマユリ田んぼに8卵塊が、新たに産みつけられていた。

去年は2月8日に卵塊8つを見たのに比べ、20日も遅い。20日すぎまで長く続いた寒波で、産

卵が遅れた。気温が上がったあと、26日深夜から翌27日早朝にかけて降った雨に誘われ、産卵したのだろう。

ヤマアカガエルの産卵数	
07年	17卵塊
08年	35卵塊
09年	25卵塊
10年	33卵塊
(10年は2月末現在)	

去年の産卵数を大きく上回る

時期は遅れたが、計33卵塊は去年の25卵塊を大きく上回る。田んぼ復元がもたらした「生物多様性向上」の一端が、ここにも現れている。

卵塊は小どんぶり1杯くらいの大きさだが、1塊に1,000個ほどの命が息づき、気温にもよるが、おおむね1か月もすると、同数のオタマジャクシが生まれる。

次はヒキガエル、アオガエル……

このあと4月にかけ、ヒキガエル(俗称ガマガエル)、シュレーゲルアオガエル、アマガエルの順に、産卵が断続的に続く。去年はさらに、田植えも終わった6月中旬、田んぼの上に張りだしたクワの枝に、モリアオガエルが産卵した。

ことしは、カエルたちがどんな産卵ラッシュを見せるか、楽しみだ。